公益財団法人 文字・活字文化推進機構
ニュースレター
第25号 2026年1月29日

ごあいさつ

公益財団法人　文字・活字文化推進機構　理事長　山口寿一

あけましておめでとうございます。
2026年の当機構の活動方針について、ご報告致します。

当機構では、読書バリアフリーの推進に力を入れており、多彩な事業を行っています。
点字付きの触る絵本や大きな文字の本、布の本、LLブックなど各種バリアフリー図書約20点をセットにして、学校図書館や公共図書館に無料で貸し出す事業は3年目を迎えています。貸し出し件数は累計520件（学校図書館約350、公共図書館約120、その他約50）を超えました。

バリアフリー図書を解説する冊子「バリアフリー図書の森へようこそ！」の無料配布も行っています。初版1万5000部はすべて配付したため、改訂版1万5000部を作り、現在、配付の要望を受け付けています。
バリアフリー図書の中でも反響が多いのが布の絵本です。そこで、布の絵本のネットワークを作ろうと、このネットワークへ参加を希望するメール会員を募集する活動を進めています。
読書バリアフリーサポーターを養成する講座も3期目となりました。読書にバリアを感じている人たちをサポートするための先進的な取り組みですが、全国から熱意ある方々の多数の応募があり、大きな手応えを感じています。
また、2025年は、フランス人のルイ・ブライユが点字を考案して200年に当たる年だったことから、点字誕生200年にちなんで、凸面点字器「トッテンくん」を無料で貸し出す事業を開始しました。点字を打つワークショップも企画し、視覚に障がいのある人にとって大切なコミュニケーション手段となる点字に親しむ機会を作っています。

子どもの読書を応援する活動としては、「読み聞かせコンサート」を各地で行っています。
当機構の「山根基世の朗読指導者養成講座」を受講した朗読指導者らによる絵本の読み聞かせと、一流の音楽家のバイオリンやチェロ、ピアノの演奏を組み合わせた催しで、音楽と物語が一体となった穏やかで心豊かなひと時を親子で過ごせると、ご好評をいただいており、今後も同様の催しを行っていきます。

2025年は、文字・活字文化振興法の公布から20年の節目の年でもありました。それを記念し、東北大学の川島隆太教授と私が「スマホ依存時代の活字文化振興をめざす」と題した対談を行いました。川島教授はスマホが子どもの脳に及ぼす悪影響を実証データに基づいて指摘し、私は海外で青少年のSNS依存症を問題視する動きが強まり、オーストラリアでSNS利用を年齢で制限する法規制が行われていること、アメリカでSNS事業者の法的責任を問う訴訟が多数起こされていることなどを報告しました。
折しも国内では、中央教育審議会の作業部会がデジタル教科書を紙と同等の正式な教科書とする素案を了承しました。今後、デジタル教科書の準備が加速する見込みです。当機構は、こうした政府の動きに対し、教科書の望ましいあり方を問い直すため、多くの識者から意見を集め、政策提言を行うことにしています。

【募集中】凸面点字器「トツテンくん」の無料貸し出しについて

▲誰でも簡単に使える、点字版と点筆がセットになったトツテンくん。

▶貸し出し事業開始

2023年秋から開始した「読書バリアフリー体験セット無料貸し出し事業」は、累計で520館を超える公共図書館・学校図書館等からお申込みがあり、たいへんご好評をいただいています。

なかでも、セットに含まれている凸面点字器「トツテンくん」は、「トツテンくんに興味を持つ児童が多く、楽しそうに使っていた」など多くのお声をいただきました。

また、2025年はヨーロッパで点字が生まれて200年であることも記念し、当機構では昨年から、「トツテンくん」を使ったワークショップを支援する無料貸し出し事業を開始しました。学校の授業や、公共図書館などのイベントで利用いただける、「トツテンくん」（最大120セット）と点字学習用動画（指導者向け・児童生徒向けの2種類）をセットで貸し出します（送料無料）。ぜひご活用ください。

【対象】全国の公共図書館、学校図書館、大学等

【貸出費】無料（各種送料も無料です）

【期間】最大15日間（返却日も含む）

詳細はこちらから ▶
https://bit.ly/3Z0XI7O

▶ワークショップ開催

◆「ゆびさきのトツテン　～ことばと点字～」

12月25日に学童保育所 京都大学キッズコミュニティ（『KuSuKu』）において、アカデミックプログラムとして「トツテンくん」を使ったワークショップが行われました。当日は約30名の小学生が参加し、前半は朗読指導者養成講座修了生・佐藤千津さんによる「あらしのよるに」（作：きむら ゆういち 絵：あべ 弘士　講談社）の読みきかせ、視覚障害者支援団体「Yonde！ プロジェクト」代表の田村恵子さんから視覚障害や点字についてお話を伺った後、後半は、「トツテンくん」を使った点字体験をしてもらいました。自分が打った言葉を田村さんに読んでもらい、嬉しそうな表情を見せる子どもたちの姿が印象的でした。

▲「トツテンくん」を体験している様子

◆大正大学附属図書館「点字のワークショップ」

1月7日に大正大学附属図書館が主催する「点字のワークショップ」の運営を当機構で行いました。当日は大正大学で福祉を学ぶ学生など11名が参加し、点字の歴史や、身近にある点字について学ぶとともに、実際に「トツテンくん」を使った名刺づくりを体験してもらいました。

ほとんどの方が点字に接するのは初めてのようで、活発に質問が出るなど、熱心に取り組んでもらい、読書のバリアについて考えてもらうきっかけとなりました。

▲点字学習用動画を使用したワークショップの様子

【申込受付中】朗読指導者養成講座修了生による連続朗読会

2月8日(日)に御茶ノ水ソラシティにて「朗読指導者養成講座修了生による連続朗読会」を開催いたします。今回は、講座修了生11組が朗読します（個人またはペア）。選んだ作品は、『ピアノ』芥川龍之介、『弟子』中島敦、『声』夏目漱石など。是非、さまざまな朗読をお楽しみください。

【日　時】 2026年2月8日（日）13:30～15:00
【会　場】 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター　2階
sola city Hall【West】（東京都千代田区神田駿河台4-6）
【参加費】 無料

◀ 申込・詳細はこちらから
https://bit.ly/4k3yzTw

【開催報告】読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修

11月22日（土）に、文部科学省から受託している「読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修」をちよだプラットフォームスクエア（東京都）で開催しました。「ICTを活用した読書サポート」をテーマとして、読書工房の成松一郎さん、愛知教育大学准教授で視覚障害当事者の相羽大輔さん、学びプラネット合同会社の平林ルミさんの3名に登壇していただきました。読書バリアフリー法の概要や読み書き困難の実情を知る講義と、iPadで支援アプリやアクセシビリティ機能の操作を体験する演習を通じて参加者25名が理解を深めました。後日、アーカイブ動画を配信予定です。

▲伊藤忠記念財団さまからの協力を得て、１人１台のiPadを提供

【開催報告】文字・活字文化振興法公布20周年記念 対談「スマホ依存時代の活字文化振興をめざす」

11月29日、城西国際大学 東京紀尾井町キャンパス1号棟地下ホール（東京都） で、「文字・活字文化振興法公布20周年記念　対談『スマホ依存時代の活字文化振興をめざす』」が、学校図書館整備推進会議 図書館改革プロジェクト（代表：山口寿一理事長）の主催で開催され、約130名が来場しました。

▲シンポジウムの様子

文部科学省初等中等教育局教科書課長の後藤教至さんによる、デジタル教科書に関する中央教育審議会の審議まとめに関する報告に続き、東北大学加齢医学研究所教授、活字の学びを考える懇談会委員の川島隆太さんと山口理事長が登壇。両名からの問題提起の後、対談を行いました。ICTの過度な使用が子どもの脳の発達に及ぼす悪影響や、紙媒体での読書の有効性、スマホ・SNS依存の危険性などについて、科学的エビデンスや国内外での報道・事例を踏まえて語られ、デジタル教科書の本格的な導入に対して強く警鐘を鳴らす対談となりました。

当機構は活字の学びを考える懇談会の事務局として、本対談の内容の発信とともに、引き続きIT時代の教育政策に関する提言を行ってまいります。

【開催報告】「ピノキオコンサート 大人とこどものための音・学・会 at 国際子ども図書館」

1月25日、国立国会図書館国際子ども図書館・公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団との共催で、「演奏とおはなし」のコンサートを開催しました。

日本で唯一の国立の児童書専門図書館、「国際子ども図書館」ホールにおいて、2人のヴァイオリニスト、清水髙師・東京藝術大学名誉教授、栗原壱成さんによる演奏、朗読指導者養成講座修了生でアナウンサーの福島絵美さんによる『弾きがえる』（作：久留島武彦　絵：市居みか　子どもの未来社）、『くまとやまねこ』（作：湯本香樹実　絵：酒井駒子　河出書房新社）の朗読をお楽しみいただきました。

▲コンサートの様子

当日は、小中学生とその保護者約100名が、ストラディバリウスの音色に耳を傾け、また、大切なものを失った悲しみとそこからの再生という、哲学的なテーマの朗読にも静かに聞き入っていました。朗読にあわせたヴァイオリン演奏という演出で、特別なひとときとなりました。

公益財団法人 文字・活字文化推進機構　維持会員（五十音順・敬称略）

◆維持会員　（企業）

ＡＤＫマーケティング・ソリューションズ
朝日広告社
潮出版社
ＮＨＫ出版
王子製紙
大塚商会
ＫＡＤＯＫＡＷＡ
キヤノン
くもん出版
講談社
サカタインクス
集英社
小学館
新潮社
聖教新聞社
大王製紙
大広
第三文明社
大日本印刷
ダイヤモンド社
ＤＩＣ
中越パルプ工業
電通グループ
東京機械製作所
TOPPAN ホールディングス
ナガセ
日本製紙
日本BS放送
日本郵便
日本図書普及
博報堂
富士通
文藝春秋
新興出版社啓林館
文研出版
ポケモン
ポプラ社
マガジンハウス
三井住友銀行
三菱重工機械システム
光村印刷
森ビル
読売広告社
読売新聞東京本社

◆維持会員　（学校・財団・社団法人、他）

教科書協会
出版文化産業振興財団
読書推進運動協議会
日本医師会
日本印刷産業連合会
日本雑誌協会
岩佐教育文化財団
日本児童図書出版協会
日本書籍出版協会
日本新聞協会
日本製紙連合会
日本専門新聞協会
日本薬剤師会

◆維持会員（個人）※氏名の公開に同意いただいている方のみ

小林 美智子　坂本 貴子　菅　友美
正司 顯好　林 明夫　田代 和生
宇佐見 英治　大平 恵理　杉山 隆子
石田 瑞恵　飯田 公子　添川 江利子
萩谷 邦昭

【ご案内】維持会員募集

当機構では、活字文化やメセナ、社会貢献にご理解のある維持会員を随時募集しております。

◆年間会費
・個人：1口1万円
・法人・団体：1口30万円（何口でも結構です）

◆入会特典
・講演会・各種イベントのご案内/各種優待等
・会報・情報誌のご送付

◀維持会員の詳細はこちら
https://bit.ly/3uu9qJ0

◀個人維持会員のお申込フォームはこちら
https://bit.ly/3GjU9n4

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは 持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

公益財団法人 文字・活字文化推進機構
〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-2-30　共同ビル神保町4F
TEL 03-3511-7305（平日10時-17時）　FAX 03-5211-7285　MAIL office@mojikatsuji.or.jp
https://www.mojikatsuji.or.jp/